

# “Haruka Strings 分科会”

Falcon<sub>guitar</sub>  
Eri Liao<sub>vocal</sub>  
西谷牧人<sub>cello</sub>

2024 07月27日 (土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



Eri Liao

歌手。台湾・台北市生まれ。台湾原住民族タイヤル族である母方の家族に囲まれ、台湾原住民の生活文化に親しんで育つ。東京大学大学院在学中、ジャズに関心を持ちNYへ。文芸創作とジャズを学ぶ中、タイヤルの踊り手であった祖母の死をきっかけに、本格的に音楽に取り組むことを決意。Billy Harper (ts) ボーカルプロジェクトメンバーに抜擢され、シンガーとして活動をスタート。Barry Harris (p) によるワークショップやクワイヤーに参加し、ビバップも学ぶ。2015年、日本に拠点を移し、ジャズ、台湾原住民歌謡、日本各地の民謡、オリジナル曲、フリー・インプロヴィゼーション等、古今東西、言語やジャンルを超えて心揺さぶる“うた”の世界を歌い続けている。2017年9月、Eri Liao Trio 1st アルバム『紅い木のうた』発売。2019年12月、ピアノ弾き語りミニアルバム『稲穂と2つのワルツ』発売。2022年7月、第9回国際口琴大会(ベルリン)でLubuw(タイヤル竹口琴)演奏。2023年10月、ボーカルとして参加するプロジェクト・ハルカストリングス1stアルバム『風の中の夢』発売。現在、台湾・日本の二拠点で活動中。活動の場を多方面に広げながら、タイヤル古謡/民謡のリサーチ、ボサノバ・ジャズスタンダード曲のタイヤル語訳プロジェクトのほか、現代を生きる台湾原住民の家族について、note等のメディアでも発信中。自らのルーツを大事にしつつ、歌手としての独自の表現を探究し続けている。

<https://linktr.ee/berrilliao>



FALCON

アコースティックギターを軸にエフェクトを活かした空間的音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウェイウェイ・ウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、マレー飛鳥(vn)等と共演。Eri Liao Trio、残歌、残響 SWIFT、サイバー民族団など多数のバンドに参加、CDリリース。自然や風景を描写した作曲、様々な地域の民謡とのコラボレーション、即興演奏を軸にしたダンス、朗読、写真とのコラボレーションなど多様な音楽に取り組む。2019年2nd ソロアルバム“美しき様々の夢”発売。2023年10月にEri Liaoと飛鳥stringsをフォーカスして作詞作曲、アレンジも手掛けて“うた”に取り組んだプロジェクト「ハルカストリングス」の1st album“風の中の夢”を発売。



西谷牧人

奈良県出身。東京藝術大学及び大学院を修了後、米国インディアナ大学にて研鑽を積む。これまでに河野文昭、菊地知也、堤剛、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し、佐渡裕氏率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設メンバーとして在籍(～2008年)。大谷康子弦楽四重奏団、小松亮太タンゴ楽団、霧島国際音楽祭、硬派弦楽アンサンブル「石田組」、東京グランドソロイスト、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演、多岐にわたる演奏活動を行なっている。2015年、自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成、全曲オリジナル作品による「KODO」にてCDデビュー。2013年度青山音楽賞受賞。2008～2016年東京藝術大学非常勤講師、2008～2019年まで東京交響楽団首席チェロ奏者を務めた。現在はパツハからジャズ、タンゴ、自作自演までジャンルを超えた演奏活動を展開している。石田組、トリオ・ジャパン、ハルカストリングス、各メンバー。2022年、ソロアルバム「STORY」、清水西谷 featuring 朝岡さやか「TRIO」、2023年ハルカストリングス「風の中の夢」をリリース。2024年より愛知県立芸術大学准教授。